

## 放射性セシウムの追加的放出量 (Bq/h)

平成30年6月26日  
福島県原子力安全対策課

東京電力では、1～4号機原子炉建屋からの現時点の放出量（セシウム）を、原子炉建屋上部等の空气中放射性物質濃度（ダスト濃度）を基に評価しています。

5月に実施された評価は下表のとおり、1～4号機の放出量の合計は、 $3.7 \times 10^4$  Bq/h未満であり、前月と同様に放出管理の目標値（ $1.0 \times 10^7$  Bq/h）を下回っていることを確認しました。なお、これによる敷地境界における被ばく線量は年間 0.00025mSv 未満と評価しています。

### 平成30年5月の状況

原子炉建屋	ダスト採取場所	セシウム 134 (Bq/cm <sup>3</sup> )	セシウム 137 (Bq/cm <sup>3</sup> )	追加的放出量の評価値 (Bq/h)	備考
1号機	原子炉直上部北西側	$4.8 \times 10^{-7}$	$4.1 \times 10^{-6}$	$2.9 \times 10^3$ 未満	前月は $3.0 \times 10^3$ Bq/h 未満
	格納容器ガス 管理システム出口	ND (検出限界 $1.0 \times 10^{-6}$ )	ND (検出限界 $1.0 \times 10^{-6}$ )		
2号機 開口前 (5/1 ～27)	ブローアウトパネル 排気設備入口	ND (検出限界 $1.1 \times 10^{-7}$ )	$1.0 \times 10^{-6}$	$1.8 \times 10^4$ 未満	前月は $2.1 \times 10^4$ Bq/h 未満
	格納容器ガス 管理システム出口	ND (検出限界 $1.1 \times 10^{-6}$ )	ND (検出限界 $9.0 \times 10^{-7}$ )		
2号機 開口後 (5/28 ～31)	ブローアウトパネル 排気設備入口	ND (検出限界 $1.1 \times 10^{-7}$ )	$1.0 \times 10^{-6}$	$1.6 \times 10^4$ 未満	—
	格納容器ガス 管理システム出口	ND (検出限界 $1.1 \times 10^{-6}$ )	ND (検出限界 $9.0 \times 10^{-7}$ )		
3号機	原子炉直上部南	ND (検出限界 $8.8 \times 10^{-8}$ )	$9.6 \times 10^{-8}$	$1.3 \times 10^4$ 未満	前月は $1.8 \times 10^3$ Bq/h 未満
	格納容器ガス 管理システム出口	ND (検出限界 $1.3 \times 10^{-6}$ )	ND (検出限界 $1.4 \times 10^{-6}$ )		
4号機	燃料取出し用 カバー隙間上部	ND (検出限界 $1.1 \times 10^{-7}$ )	ND (検出限界 $1.0 \times 10^{-7}$ )	$2.8 \times 10^3$ 未満	前月は $2.8 \times 10^3$ Bq/h 未満
計				$3.7 \times 10^4$ 未満	前月は $2.9 \times 10^4$ Bq/h 未満

(問い合わせ先 024-521-7255)